

技術・技能を極める情熱と積み重ねてきた功績

建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰 受賞

代表取締役会長 遠藤 和彦(勤続46年)

去る7月10日に、国土交通省より大臣表彰を受けることができました。この賞は、東京建設躯体工業協同組合からの推薦により叶ったものですが、従業員の方々の普段の努力が実を結び、会社が社会的責任をしっかりと果たしてきたからに他なりません。改めて、従業員の皆さまに心から感謝申し上げます。これまでの人生を振り返ると、昭和54年に入社して以来、様々な業務に携わせてもらい、多くの知見を得て充実した企業人生を歩んでこられたと思っています。もちろん、仕事の過程では、追い詰められたり、投げ出したくなったり、落ちこんでしまう場合は、数えきれないほど経験しました。そんな時、私を救ってくれたのは先輩、同僚はもちろん「六中観」という長年座右の銘としてきた教えもその一つです。物事を反転させるこの教えは、幾度も逆境の私にたち向かう元気や勇気をくれました。大切な一念を持つことの大切さを、今、心から実感しています。企業人生は、だいぶ残りが少なくなってきましたが、これからも社会や会社の発展に向け全力を尽くしてまいります。



瑞宝単光章 受章



東北支店 建築工事部 宮城営業所 熱海康太郎班
職長 鈴木 博(勤続34年) 東北電子専門学校 卒

受章の内示を知らされた際は、何のことかすぐには理解できず、驚きを隠せませんでした。これまでの仕事を振り返ると、「楽しく働くこと」を第一に、現場の全員がそう思えるよう努めてきましたが、その分、家族には苦勞をかけ、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。若手や後進の育成には、自分なりに力を尽くしてきたつもりですが、受け止め方は人それぞれだと感じています。特別な感動エピソードはありませんが、日々の仕事一つひとつが私にとっての経験です。今後の夢は、この仕事を何歳まで続けられるか挑戦すること。今回の受章は、推薦して下さった浅沼組様や現在担当させていただいている戸田建設様のおかげであり、感謝してもしきれません。これからも、担当現場から表彰をいただけるよう努力します。そして、家庭との両立ができずに苦勞をかけた家族には、向井建設から「お役御免」と言われるまで、もう少しだけ付き合ってほしいと願っています。

日本建設業連合会(日建連)2025表彰「第6回土木賞」 受賞

この表彰は、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰するものです。当社は、関係会社として表彰されました。

日比谷線虎ノ門ヒルズ駅設置に伴う土木工事

大規模交差点直下における地下鉄営業線運行下での新駅設置工事



出典元: 日本建設業連合会HP

福島第一原子力発電所ALPS処理水希釈放出設備工事

作業制限の多い施工条件に対応した海底シールドトンネルほか放水施設の築造



出典元: 日本建設業連合会HP